



発行
第7偵察隊
OB会

新年明けまして おめでとうございます



「新年のご挨拶」

第七偵察隊長

二等陸佐

加賀谷 岳彦

明けましておめでとうございます。心穏やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

平素から第七偵察隊に対してご支援、ご協力を賜っている隊OB会及び賛助会の皆様、隊員が勤務に精励できるように支えていただいているご家族の皆様、そして偵察隊の隊員諸官に謹んで新年の祝詞を申し上げます。

昨年、陸自唯一の機甲偵察隊として、あらゆる事態に即応し各種任務を完遂できる能力を保持し得るよう、これまで培った練度を基礎に、第一次及び第二次師団訓

練検閲、方面隊内の偵察部隊合同訓練、方面戦車射撃競技会等における向上に努めて参りました。これもひとえに、日々訓練に精進した隊員諸官はもとより、隊員を支えていただいたご家族の皆様のおかげであり、改めて深甚なる感謝と敬意を表します。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。また、依然として国家間の武力衝突が生起しており、万が一抑止が破れた場合、国家の尊厳と国民がいかに長く苦難のもとにおかれるかという状況が現に顕れているところと見えます。

このような状況の中、師団の先駆けとなる我々第七偵察隊の能力向上が、第七師団の強化に直結しているとの認識のもと、各種任務、機甲偵察の特性等を踏まえ保持すべき能力到達目標を明確化して練成を重ね、作戦運用の実効性向上を図っているところと見えます。

今後とも、唯一無二の機甲偵察の名に恥じぬよう、任務を完遂し得る精強かつ健全な部隊を、隊員一丸となり作り上げる所存ですので、これまでと変わらぬご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様にとって更なる飛躍と幸多き年となりますようお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「新年のご挨拶」
OB会長 清水 英明
第七偵察隊の隊員、OB会並びにご家族の皆様、そして賛助会員の皆様、令和八年の新春を健やかに迎えられることに心からお慶びを申し上げます。

さて昨年のOB会活動は、二月にOB会創設祝賀会五月に定期総会及び懇親会、九月懇親会、八月と十月に親睦パークゴルフ大会、十二月に忘年会を実施して會員相互の親睦を深めてまいりました。

また、十一月に行われた北部方面隊戦車射撃競技会にご招待頂き隊員の頑張る姿も見させていただきました。

令和七年度も、昨年度に引き続き多くの新隊員が、第七偵察隊を希望し配置されたことにも、大きな喜びを感じているところです。

最後になりますが、現職の皆様、OB会及び賛助会員の皆様の日頃のご支援、ご協力を深く感謝するとともに、令和八年が素晴らし一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



「新年のご挨拶」
前任上級曹長
木村 幸樹

新年明けましておめでとうございます。第七偵察隊の隊員、ご家族の皆様そして日頃から第七偵察隊に温かいご支援ご協力をいただいておりますOB会、賛助会の皆様におかれましては、幸多き新年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

我が隊はここ数年、沢山の候補隊員にも恵まれてとても若者が多い部隊となりました。その反面、部隊の練度を維持できる工夫して訓練をする必要性を感じており、元氣と信念をもって訓練に励んでいきたいと思っております。

最後に、令和八年が皆様にとって良い一年でありますことをお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



令和八年を『一文字』で表し、目標に向かって新年スタート

隊は令和八年一月十三日、新年恒例の年頭行事を実施した。

副隊長を始め、本部付隊長及び各小隊長は今年の目標を一文字で表し、掲げた目標の達成に向けた決意を述べた。また、各小隊長は隊長よりお神酒を授与され、各所掌による安全祈願を実施し、新年をスタートした。



2026年第7偵察隊を紹介

隊本部

『新年の挨拶』

副隊長 三等陸佐 金丸 尚史

第七偵察隊隊員ご家族、OB会、賛助会員及び関係部隊の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、隊練成訓練、偵察部隊合同訓練及び各Gp(小銃、戦車、迫撃砲)訓練等のあるらゆる任務に対して真摯に取り組み練度を向上させてまいりました。

今年度においても、基本・基礎を大切にしつつ、陸上自衛隊唯一の機甲師団偵察隊として、能力を遺憾なく発揮する所存ですので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



本部付隊

『新年の挨拶』

本部付隊長 一等陸尉 五十嵐 一喜

新年あけましておめでとうございます。隊員ご家族、OB会及び賛助会各位の皆様におきましては、よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。旧年中に第七偵察隊に賜りましたご支援・ご協力に對此この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本部付隊は、効率的な訓練実施に着意しつつ各種状況に応じた段列行動が実施できること、富な上級陸曹が各班をけん引するなどより一体感が醸成されたと感じております。

本年は、創隊七十周年の節目の年、訓練検閲受閲及び多種多様な訓練実施が予定されております。

付隊は、常に変化する状況に柔軟に対応し、つつと与えられた任務を完遂できることと、更なる練度向上を目標として訓練、業務に励んで参りたいと思

います。最後に本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

上げお願ひ申し上げます。旧年中に第七偵察隊に賜りましたご支援・ご協力に對此この場を借りて厚く御礼申し上げます。

挨拶とさせていただきます。



第三戦闘偵察小隊



『新年の挨拶』

第三戦闘偵察小隊長

一等陸尉 松田 洋和

第七偵察隊の皆様、そして隊員ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。私が三小隊長に上番して三年目にあたると、新年を皆様の大きな事故や怪我もなく、こうして新年を皆様と迎えられるのも、皆様の日頃からのご理解とご協力、ご家族の支えあってのものだと改めて身に染みて感じております。また、本年についても皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いするとともに、これからの皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

斥候小隊



『新年の挨拶』

斥候小隊長

三等陸尉 高橋 健二

賛助会、OB会、隊員家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

斥候小隊は昨年度の七月末に行われたRCV射撃競技会において分隊長田中二曹と副分隊長中西二曹、そして分隊の各乗員の努力の結果、目標の連覇を果たすことが出来ました。今年度は競技会を目標に置くことはもちろんですが、小隊の若い隊員の育成を主眼に各種訓練の練度を向上し、今年度実施予定の隊検閲において「隊の任務達成に寄与」できるよう日々精進したいと思っております。

『手榴弾投てき訓練』
基礎的事項を徹底し、
安全確実に訓練を実施

隊は令和七年九月八日、東千歳射場において手榴弾投てき訓練を実施した。若年隊員をメインとして実施し、手榴弾の基本的な取扱いや投てき準備及び目標地点への投てき、並びに投てき時の不測事態対処要領を演練した。投てき手は投てきのコツや破片効果を確認するとともに、じ後の投てき訓練へ反映できる成果を得た。



『北部方面航空隊共同リペリング訓練』
施設屋上へのリペリング

隊は、令和七年九月十日から九月十一日の二日間にわたり、北部方面航空隊及び第七飛行隊との共同リペリング訓練に参加した。
本訓練では、市街地戦闘訓練場の訓練施設を使用して、屋上に降下する一連の動作を演練した。
建物屋上へのリペリング訓練にあたっては、航空隊訓練担任官と訓練実施部隊間で綿密に調整を実施し、降下する際の「不測事態」に対応するための部隊間の意思疎通や状況判断等についても練度を向上させた。
じ後も訓練練度を上げ更なる練度向上を図る。



『作戦機動』
初の機動訓練から海上輸送を実施

隊は、令和七年九月十一日第七師団が担任実施する長距離機動訓練に参加した。
本訓練は当日十九時頃、九〇式戦車三両が東千歳駐屯地を出発して苫小牧西港まで一般道を機動。じ後フェリーにより釧路港まで海上輸送し、釧路港から釧路駐屯地を経て、矢白別演習場まで移動した。
隊として戦車の生地機動及び海上輸送に係る基盤を確立させ、展開能力の向上を図ることができた。



『第二次隊練成訓練』
第七偵察隊としての
戦闘偵察行動を演練

隊は、令和七年九月二十八日から十月四日の間、北海道矢白別演習場において、第二次隊練成訓練(第二次師団訓練検閲対抗部隊)を実施した。
当初偵察のための前進を実施し、じ後第七偵察隊としての偵察行動及び警戒行動を演練した。
敵TKCT進出状況の解明のため威力偵察により接触を維持しつつ、のちに前進してくる主力部隊超越の掩護を実施した。



『令和七年度秋季演習場定期整備』 秋寒もろとも積もった落ち葉を吹き飛ばす

隊は令和七年十月二十七日から十一月四日の間、令和七年度秋季演習場定期整備を実施した。

今秋も東千歳地区と恵庭地区の二地域を整備したが、演習場道路両端や各種訓練場は伸びに伸びた薄(すすき)等が張り出し視認性が悪い状況であり、側溝は落ち葉の堆積が激しく機能を阻害していた。

演習場整備を担当した後方幹部長谷川二尉は綿密な整備計画を立て、各整備隊に担任地域を割当て効率的に整備を進め、演習場道路や側溝の機能回復を図った。

また本整備間、後方事務室では中三日間の昼食を炊事して隊員に温かい食事を提供し、隊員の士気高揚及び炊事技能の向上を図った。



落ち葉をブローで吹き飛ばす



開始前の準備運動



調理中の小山内2曹



身の丈まで伸びた薄を刈る



米もふっくら炊けました



刈りも除草も一苦労



火炎が噴き出す瞬間



七偵マークを磨き意識を高める



砂塵と硝煙の中、前進する戦車



砲塔を磨き願掛けする隊員



競技終了後の出迎えの様子



認識統一を行う小隊長松田一尉

隊は令和七年十一月三十日、令和七年度北部方面戦車射撃競技会に参加した。

第三戦闘偵察小隊長松田一尉は、限りある練成時間の中、小隊戦闘射撃の練度を創意工夫し練度を積み上げ、戦車小隊一丸となり本競技会に臨んだ。

結果は小隊対抗の部で第十二位の結果ではあったが、じ後の小隊戦闘射撃の練度向上に繋がる成果を得ることが出来た。

本競技会で得た教訓をしっかりと分析して、更なる練度向上を図り、次回上位入賞を目指す。

『令和七年度北部方面戦車射撃競技会』 次につながる成果を獲得

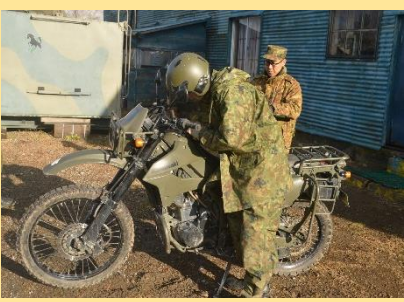


弾薬積載準備を行う隊員

『令和七年度自動二輪特技訓練』
横転した痛みにも耐えながら、
気持ちちは折れずにハンドルを握る

隊は令和七年十一月十日から十一月二十一日までの間、自動二輪特技訓練を実施した。オートバイ操縦はあらゆる地形を克服して任務を遂行する偵察隊員にとっては必要不可欠な特技である。

また、各種操縦技術だけではなく、車両に係る諸元・性能及び点検・整備要領を熟知することが必要である。今年度特技訓練に参加した隊員達は、連日の訓練による疲労に耐えながらも総合訓練に合格し、特技を取得することができた。



不具合を発見し調整中の隊員



八の字走行する田代士長



超低速走行練成中の塩沢士長



空気圧も確実に点検



合格発表する教官北岡1曹



スラローム走行中の倉本士長



軽快に走行する片桐士長

第一戦闘偵察小隊



川田二士



駒井二士



關谷一士



佐藤一士

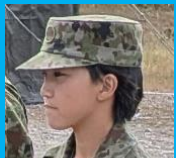


氣田二士

本部付隊

十八名の若き戦力が偵察隊へ
令和七年十月、第七偵察隊に十八名の新隊員が配属された。紹介行事において壇上には上がると、緊張と照れくささを隠しきれない表情で自己紹介をする隊員達であったが、緊張を

第二戦闘偵察小隊



太田二士



坂田二士



有賀一士

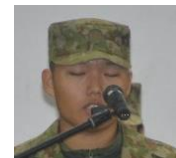


菅川一士



大西一士

電子偵察小隊



藤田二士

吹き飛ばすかのような声を発して自己をアピールした。また、偵察隊への希望理由は、オートバイに憧れての希望が大多数であった。

第三戦闘偵察小隊



佐々木二士



酒井二士



橋本一士



和賀一士



岩井一士

斥候小隊



今井二士



伊藤一士

23名もの隊員が教育参加！ 令和七年度陸士特技課程「偵察」(初級偵察)始まる！

隊は、令和七年十月二十日から十二月五日までの間、令和七年度陸士特技課程「偵察」(以下初級偵察という。)を実施した。

本教育は偵察隊員として必要不可欠な資質及び識能を修得させる重要な教育である。

第七偵察隊長加賀谷二佐は本教育に際し三点の要望をした。「一、一人になっても任務を遂行できるように全力で教育に臨め。」「二、同期の絆を大切に、切磋琢磨せよ。」「三、自ら健康管理をせよ。」である。

我々は偵察隊員としてあらゆる任務を課せられる。状況によつては一人残されても与えられた任務を遂行しなければならぬ。

いかなる困難な状況に陥っても任務遂行できる「知識・技術・精神力」を身に付け、自信にあふれた一人前の偵察隊員となることを期待する。

基礎爆破訓練



燃焼試験の様子



雷管装着作業中



点火成功



監的作業も実施



弾込めよし



初の機関銃射撃



前方敵なし



林内を前進中



障害の確認



補足命令下達



掩蓋監視壕の様子



隊員二名が監視中



隠蔽地で監視



レーダ監視

令和七年度初級偵察訓練開始式



教育隊旗授与



意気盛んな隊員達



令和七年度陸士特技課程「偵察」集合写真

MINIMI
射撃

各種地形の
通過要領

監視哨訓練

『令和七年度陸士特技課程「偵察」
寒さと雷雨に耐え、一致団結任務完遂』

令和七年十二月二日から一夜二日にかけて、令和七年度陸士特技課程「偵察」(初級偵察)の総合訓練を実施した。当初、人員点検として各人の装備品及び任務の理解を確認し、じ後は各組ごと敵情解明するべく偵察前進を開始した。十二月の凍てつく寒さに加えて、夜間の偵察活動の際は雷雨にも見舞われ、状況は困難を極めた。厳しい寒さと雨に耐えながら敵情を解明し、偵察結果を報告した初級偵察隊員は、無事に任務を完遂し、帰還したことを第七偵察隊長へ報告した。



『令和七年度陸士特技課程「偵察」
同期と苦難を乗り越え、無事修了式を迎える』

令和七年十二月五日、約一ヶ月半にわたり実施した令和七年度陸士特技課程「偵察」の修了式が行われた。本教育間、教官・助教からの熱烈な指導の下、自ら考え行動し、同期と苦難を乗り越え、二十三

無事修了式を迎える



名の隊員達は無事修了式を迎えた。

初級偵察に参加をして

「初級偵察を終えて」

斥候小隊 二等陸士 今井 功

初級偵察課程を通して様々な事を学びました。自分は本番に弱いのですが、自習や合間の時間でイメージトレーニングをし続け、自信がつくまで回数を重ねた結果、射撃や爆破では緊張している中でも無事にやり遂げることが出来ました。総合訓練では、自分の力だけではどうにも出来ない場面が多く、同期や同行助教に助けってもらいながら一夜二日乗り越えることが出来ました。最後に、これからも人との繋がりを大切に、精一杯頑張りたいです。



「初級偵察に参加して」

衛生班 二等陸士 氣田 結香

初級偵察課程を終え、偵察隊員としてのスタートラインに立ちました。教育を通して得たことは、基礎的な偵察に関すること了他、人として大切な事を多く学びました。特に同期を思いやる事はとても大切な事と認識をしました。自分では対応が困難な時や、わからない時、いつでも手を差し伸べてくれたのは同期です。お互いを信じ、助け合うことで困難は乗り越える事ができると実感しました。

部隊に復帰したら、偵察隊員として自信をもって勤務できる様、素直に全力で業務に取り組みんでいきます。



『第七偵察隊年末行事』

隊員家族に日頃の感謝と職場で一生懸命な父の姿を披露

隊は令和七年十二月二十日、令和七年第七偵察隊年末行事を実施した。偵察隊長加賀谷二佐は、隊員が心置きなく訓練に励むことが出来るのは、隊員ご家族の理解と協力があつての事であることに深く感謝の意を述べるとともに、隊員によるリペリング訓練展示や家族一体型の雪上宝探し、東千歳駐屯地資料館の研修等を計画して「自衛隊員としてのお父さん」「職場での隊員の姿」等を見て、体感していただいた。

最後に、隊員食堂において、昼食を喫食して第七偵察隊の令和七年を締めくくった。



駐屯地の隊員食堂で体験喫食



第七師団の歴史が分かる東千歳駐屯地資料館見学



固唾を飲みながら降下隊員を見守ったりペリペリング訓練展示



雪中宝探しでお菓子をゲット

装備品及び天幕展示

体験搭乗

『令和七年度二十歳の集い』
二十歳を迎え、
大人として決意新たに

令和八年一月十五日、東千歳駐屯地で行われた、令和七年度二十歳の集いに偵察隊から二十三名の隊員が参加をした。
今年度めでたく成人を迎えた二十三名は、東千歳駐屯地司令や千歳市長からご祝辞をいただいたのち、成人者全員で恒例の重車両綱引きを行った。



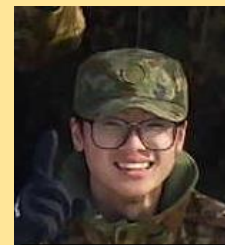
高津 士長



菊地 士長



長田 士長



太田 士長



石井 三曹

新成人達は、掛け声に合わせて力強く自走りゆう弾砲を引いていた。



山岸 士長



渡邊 士長



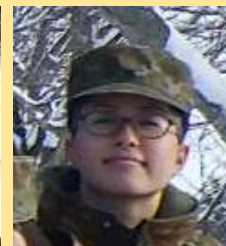
島倉 士長



松尾 士長



中村 士長



高橋 士長



坂口 士長



山下 士長



倉本 士長



和賀 士長



柚木 士長



米本 士長



氣田 1士



安居院士長



川田 士長



田所 士長



川埜 士長



左谷野士長

4名の兵(つわもの)が定年退職 「長年のご献身に心より敬意を表します。本当にお疲れ様でした。」



准陸尉 都築 友一
令和七年十二月十日付



准陸尉 末吉 正樹
令和七年九月二十六日付



准陸尉 山中 輝明
令和七年十二月十七日付



准陸尉 大島 隆行
令和七年十一月二十九日付

「隊員募集への協力について」

令和七年度、陸上自衛隊北部方面隊では、自衛官候補生及び曹候補生を始め、防大、生徒等の募集に日々努力をしておりますが、今般の募集状況は非常に厳しい状況にあります。
将来にわたる平和を維持するため、第一線部隊や隊員も「自主募集」に強く取り組む必要性を痛感しております。
ご家族、OBの皆様、隊員のご友人等で、「自衛官」という職業に興味がある方をご存じでいらっしゃいましたら、ご連絡をお願い致します。(0123-23-5131 内線2698岡崎准尉まで)



ななてい「X」



ななていinstagram



閲覧数50000人越え
フォロワー数1000を突破しました!!
ご友人やご親戚、ご近所の方にぜひ、「ななてい」SNSのご紹介をお願いします。
閲覧後は「フォロー又はいいね」をお願いします。

編集後記

新年明けましておめでと
うございます。
本年もどうぞ宜しくお願い
致します。
時が経つのは早いのか遅
いのか、昨年私も五十歳に
なりました。人としてはま
だまだ未熟者ですが(汗)。
そして第七偵察隊は令和八
年二月、創隊七十周年を迎
えます。
七偵は加賀谷二佐を核心
として、益々訓練に励み、
精強かつ健全な部隊として
これからも「躍進」します。
引き続き皆様のご支援ご
協力を賜りますようお願い
申し上げます。

第七偵察隊
広報陸曹 幌一曹

各種訓練等を、
「ななてい」Twitter「X」
及び「ななてい」Instagram
にてアップしていますので、
閲覧・登録をよろしくお願
いします。今後も変わらぬ
ご支援・ご協力をお願いし
ます。

北海道千歳市祝梅一〇一六
第七偵察隊
0123-23-5131
(内線二六八二)

